

霧の街ロンドンのイメージが余りにも鮮烈なので、ロンドンでの霧の出現日数が 20 日、一方、霧フェスティバルを行っている釧路の出現日数が 100 日を超えていると聞かされると多くの方が驚かれるに違いない。

何時もの如くのジョギング登庁の時、落葉松(唐松)の下にある石が濡れているのに気付いた。雨が降った訳では勿論ないし、シラカンバの木の下石は特段の変化がなかった。可笑しいと思って触ってみると松脂である、見上げると横に突き出た枝の下の方に松脂が一杯付いている。これが滴り落ちたものと推定される。結婚したが故に、十勝永住を決心した某の話によると、今時は木の下に車は置いていけない。樹液が落ちてきて、それが中々取れないと。

そこで、松脂について調べてみようと思ったのだが、適当な資料がなく、『森の何でも相談室』を教えて貰ったので、問い合わせをし、懇切な回答を得ることが出来た。興味津々たる内容が多いと思うので、それを紹介しよう。(原文のままではなく一部変更している。)

Q 1：「唐松」命名の由来について

A：命名の由来は、「葉の様子が唐絵の松に似ていること」からだと言われている。

Q 2：唐松に比べ他の松では松脂がそれ程ではないのは何故か？(駐屯地内の他の松は殆んど目立たなかった)

A：唐松がそんなに多くの樹液を分泌するとは知らなかった。唯、樹木が松脂を分泌するのは昆虫などの外敵によって傷つけられた傷口を松脂によって固め保護する為である。多分、唐松の場合は、アカ・クロマツに比べて樹皮が薄く、食害を受け易い為では。

Q 3：松脂が良く採れる時期は？

A：松脂は樹皮などが傷つけられた時に傷口を保護する為に分泌する天然樹脂である。従って、キクイムシ等外敵が活躍する時期に最も多く分泌する。昆虫などの外敵が活躍するのは春から秋であるので、その時期ということになる。

Q 4：松脂の成分、利用法があれば教えて。

A：マツヤニ(生マツヤニ)の成分は、揮発性のテレピン油と不揮発性のロジンから成っている。テレピン油は、水蒸気蒸留で得られ、その主な用途は、ペイント用溶剤、合成香料原料、重合成樹脂原料である。ロジンの用途は、紙サイズ剤が最も多く、次いで合成ゴム乳化剤、印刷インキ、塗料、接着剤などである。野球のロジンバックもマツヤニのロジンである。

Q 5：琥珀はマツヤニの結晶との事だが、どれ位の期間や圧力が必要か？

A：琥珀は樹脂が化石化したもの。琥珀には松類だけではなく、ナンヨウスギ、メタセコイアの他広葉樹の樹脂の化石化したものもある。樹脂類が琥珀になるには何千年、何万年と言う長い年月を要する。日本では岩手県の久慈地方の琥珀が有名。その琥珀は、ナンヨウスギ(アロウカリア)の仲間の樹脂が化石化したもので、約 8,500~9,000 万年前のものと言われている。

Q 6：朝鮮ゴヨウのマツボックリが巨大な訳？

A：何故大きくなるかは誰にも判らない。想像の域を出ないけれども、朝鮮ゴヨウはリス等の小動物を利用して種子を散布させる生存戦略をとっている。その為には、種子を大きくする必要があり、球果も大きくなったのではないかと考えられる。

Q 7 : 松脂がついた服や車など、簡単に除去する方法や如何？

A : 詳しくは判らないが、マツヤニも油脂類なので、ベンゼンを含ませた布などで処理出来るのでは？念のため、クリーニング屋さんに見て下さい。

Q 8 : 松脂と松根油の差は？

A : 本来は、松脂を集め蒸留して得られるテレピン油（昔は、ガソリンの代用にして自動車を動かし、飛行機も飛ばした）を松根油と言う様だが、漆のように松の幹に傷をつけ集めた樹脂も松根油と言っているようだ。戦時中は、松の伐根を掘ってテレピン油を作ったことから松根油と呼ばれているようだ。

Q 9 : マツ以外にも松脂のような樹液を分泌するもの有りや否や？

A : 松脂のような樹液を分泌する樹は多くある。身近な樹では、ヒノキ、メタセコイア、モミ類等に見かける。分泌する樹液の成分は樹種によって異なるが、クヌギ、コナラ等の樹液には糖分が多いためクワガタ、カブトムシなどが集まってくる。

Q 10 : 落葉する松は珍しいのでは？

A : 珍しいといえば、珍しい。しかし、針葉樹では、杉科の落葉松（ヌマスギ）、メタセコイア（アケボノスギ）なども高揚し、落葉する。

Q 11 : 唐松は本当に松の仲間か？

A : カラマツは松科の樹であるが、カラマツ属に属する。従って、植物分類上は、松属の赤松や黒松とは属レベルで異なり、その違いが色々な面で見られるのでしょ。

Q12 : 道路が濡れた状態にあるのを見るが、樹液なのか？

A : 道路が濡れるほど樹液を分泌する樹はあるようには思えない。葉や幹などに溜まっていた雨滴等が風などで一斉に落下したのでは？

(Q12 については、長い間乾燥状態が続く場合など落下した樹液が多くなり、濡れた状態にならないとも限らないのではという気もするが、どうだろうか？)